

平成27年度ヘルスプランぎふ21推進会議 地域・職域連携推進部会 議事概要

1 日時 平成28年1月18日(月) 午後1時30分～3時30分

2 場所 岐阜県庁12南-1会議室

3 出席者 13人

	団体名	職名等	氏名	備考
1	岐阜大学大学院	准教授	井奈波 良一	
2	岐阜県医師会	副会長	池田 久基	
3	岐阜県医師会	常務理事	堀部 廉	
4	岐阜県歯科医師会	専務理事	長瀬 好和	
5	岐阜県商工会議所連合会	専務理事	山田 英治	欠席
6	岐阜県商工会連合会	専務理事	佐藤 昭三	
7	岐阜産業保健総合支援センター	副所長	安江 誠	
8	岐阜労働局労働基準部	健康安全課長	松原 川史	
9	ぎふ総合健診センター	専務理事	上村 博幸	部会長
10	岐阜県国民健康保険団体連合会	健康推進課長	松原 由真	
11	健康保険組合連合会岐阜連合会	常任理事	田口 節	
12	全国健康保険協会岐阜支部	企画総務部長	桜井 康弘	
13	岐阜県市町村保健活動推進協議会	保健師部会長	中本 正美	
14	岐阜県保健所長会	恵那保健所長	阿部 好正	

4 事務局 4人

1	保健医療課	課長	有賀 玲子	
2		保健企画監	山田 美奈子	
3		主幹	吉村 隆子	
4		主任技師	藤田 真紀	

5 部会内容

■ 部長選出

・互選により上村委員に決定。

■ (1) 報告事項

- ①岐阜県の生活習慣病の現状
- ②圏域別地域・職域連携推進事業の実施状況
- ③平成28年度事業について
県民健康意識調査、県民健康実態調査

■ (2) 意見交換「職域のがん検診」

- ①職域のがん検診の推進、受診率の向上
 - ・職域のがん検診が進むためには、保険者より、事業主の意識が重要であり、産業医の働きかけや、労働局との共同によるがん予防の啓発が、効果があるのではないかと。
 - ・企業の戦力を逸しないという目的から、若年層からがん検診を実施したり、ピロリ菌検査等がんの予防に努めている事業所もある。
 - ・がん検診を実施していない事業所へは、市町村のがん検診の活用を継続的に勧奨していく必要がある。

- ・市町村国保や全国健康保険協会岐阜支部では、特定健診とがん検診を同時実施しており、実施数、受けられるがん検診の種類は増えている。しかし、委託医療機関が異なる場合の同時実施は困難である。
- ・被扶養者のがん検診は未実施や、実施していても受診率は低く、保険者の課題である。
- ・岐阜産業保健総合支援センターにおいて、岐阜県の職場におけるがん検診の実施状況、がん教育、治療と就労の両立支援など、がん対策について調査研究事業が実施される予定。

②市町村のがん検診

- ・市町村のがん検診においては、対象者を把握し、未受診者へは再通知や、訪問や保健事業等の機会を捉えて周知している。
- ・特に40代等の若年者の受診が少なく、リピーターに偏る傾向があり、がん予防のポピュレーションアプローチも必要と考えている。
- ・市によっては、土日に、全てのがん検診を受けられる検診日を設けている。

③がん検診の精密検査

- ・大腸がん検診の精密検査は予約が3ヶ月待ち等、精密検査を実施できる施設が限られていることもあり、施設の整備も必要である。
- ・市町村は、3ヶ月おきに精密検査未受診者を名簿で確認し、地区担当保健師が個別勧奨しているところもあり、職域の精密検査受診率より高い。